

劇団唐組4月27日・28日開催

3月3日 前売開始



# 泥人魚

岡山河畔芸術祭  
旭川河畔・京橋河川敷

## 劇団唐組の代表傑作を上演！

『泥人魚』は、2003年に劇団唐組が初演し「すぐれた劇詩人で舞台の魔術師、唐十郎の集大成」と称賛され、第55回読売文学賞戯曲・シナリオ賞、第7回鶴屋南北戯曲賞、第38回紀伊國屋演劇賞(個人賞)に輝いた傑作です。

## 唐十郎作品とともに半世紀

唐十郎の演劇作品は1975年、初めて岡山城の鳥城広場で上演されました。以来アートファームは、半世紀にわたり状況劇場と劇団唐組を招聘し、2022年から毎年、岡山河畔芸術祭の春公演として京橋河畔に登場しています。



唐組作品『糸女郎』は2002年4月、唐十郎の作・演出・主演により、岡山市の旭川河畔で上演されました。現会場の京橋より上流となる岡山県庁の対岸河川敷に紅テントが翻りました。

この年アートファームは、葉桜の中で唐組公演を終えたのち、川を下って瀬戸内海へと向かいました。7月に犬島初登場の巨大野外劇集団・維新派の『カンカラ』公演を担うべく、2ヵ月間におよぶ離島での制作運営を敢行しました。

春から夏へと日本演劇の前衛たちと帯同してきた私たちは11月、もうひとりの旗手「寺山修司の世界展」を半月間にわたり、岡山市街地で開催しました。市街劇、映画上映、書籍・ポスター展示、福島泰樹絶叫短歌、九條今日子独白などが多彩に展開されました。

岡山の川と島と街を舞台に繰り広げた、二度と再現できないエポックな2002年となりました。

(NPO法人アートファーム代表・大森誠一)



川の氾濫で繭の工場を追われた湖村蚕は、女のオークションが開かれる町の喫茶マドンナで、水晶の爪を持つという晶と出会う。二人の運命は、一本の絹糸となって蚕の口から溢れ出し、紅テントが紡いだ夢の胎内を満たしてゆく――

劇団唐組・第72回公演  
作品:糸女郎  
作:唐十郎  
演出:久保井研+唐十郎  
出演:劇団唐組  
公演:2023年10・11月  
会場:猿楽通り沿い  
雑司ヶ谷鬼子母神



久保井 研

1962年生まれ福岡県出身。1989年劇団唐組入団。1989年～2023年まで全公演に出演。1990年『透明人間』で演出助手を務め、97年の再演では初めて演出を担当。2001年『水中花』主演。2005年『カーテン』主演。2006年『透明人間』主演。2007年第17回日本映画批評家大賞・ドキュメンタリー作品賞受賞作品『シアトリカル 唐十郎と劇団唐組の記録』出演(監督 大島新)2008年『ジャガーの眼 2008』主演。

2012年第49回公演『海星』公演期間中に座長 唐十郎が倒れ、座長代行として休演を回避・全公演を完了。2015年に一般社団法人劇団唐組 座長代行に就任。2012年第50回公演『虹屋敷』～2023年第72回公演『糸女郎』まで全て演出・出演、現在に至る。

外部演出では「少女仮面」(2010年)や渡辺えり一人芝居「乙女の祈り」(2010年)などがある。また劇団東京乾電池とのコラボ企画やサンプルなど他劇団への出演、「夜空はいつも最高密度の青色だ」(17年 監督 石井裕也)の映画出演など、演出家、俳優として幅広く活躍している。



渡辺 弘

1953年栃木県生まれ。1980年より情報誌『シティロード』の編集などを経て、演劇ジャーナリストとして活動。1984年西武百貨店に入社し「銀座セゾン劇場」の開業準備、1987年開場より制作業務を行う。1989年東急文化村に入社し、Bunkamura 開業準備に携わり、開場後は「シアター・コクーン」の運営、演劇制作を行う。2003年より長野県松本市の「まつもと市民芸術館」の開業準備に携わり、開場後はプロデューサー兼支配人として運営、制作業務を行う。2006年10月より(公財)埼玉県芸術文化振興財団(「彩の国さいたま芸術劇場」)に移り、業務執行理事兼事務部長に就任。現在はゼネラルアドバイザー。2023年10月より岡山芸術創造劇場ハレノワのプロデューサーに就任。

## 一般社団法人 劇団唐組

唐十郎が主宰する劇団で、通称「紅テント」とも呼ばれる。唐十郎は1960年代初頭より状況劇場という劇団を主催し、仮設テントによる移動劇場を活動拠点として、全国の主要都市での公演を行ってきた。その活動は現代都市空間の中に、突如として非日常的な空間を創りだし、独自の演劇世界を出現させることにより社会に大きな影響、刺激を与えた。

1988年より、劇団名を「唐組」と改め、新世代の座員を加え、状況劇場時代から培われてきた技術をさらに発展させ、テント設営、美術、音響、照明、衣裳、その他細部までを出演する座員達自らが受け持ち創造するスタイルで、年に2回、春と秋に一大興行を行っている。公演場所は状況劇場時代から半世紀50年を経て興行を行い続け、代名詞とも言える新宿花園神社をはじめ都内各所、また大阪をはじめ各都市での紅テント公演も精力的に行っている。

